



江戸崎かぼちゃ生産研修

2021.4-2022.3

川坂 裕司

研修スケジュール

2021								2022			
着任1年目				着任2年目							
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
春物促成栽培研修 JA稲敷かぼちゃ部会員の方の 作業を手伝いながら研修を受ける				秋物抑制栽培研修 部会員の方の畠を借り 独力生産を試みる				春物促成栽培 研修 畠づくりから 春物準備		春物促成栽培研 修 独力生産を試み る	

2021.7まで部会員の方にお世話を
して学んだ。
以降、独力生産を行っている。

21年秋の抑制栽培の結果

広さ		3反(3,000m ² 約300坪)
植えた種		1,800粒 (120箱/反=全360箱 想定)
目標出荷箱数		360箱(120箱/反)
出荷箱数		242箱(72箱/反)
江戸崎かぼちゃ	ランク	箱数
	A	39
	B	120
	C	36
	D	7
かぼちゃ	A	
	B	15
市場持込		25

ランクは傷や熟度など
による

結果

- Aランクは少なく、出荷箱数は目標を下回った
ランク下げ⇒傷、焼け
出荷不可 ⇒ 焼け、未熟、過小、穴、斑点

要因		解決策
定植初期の消毒不足	背負式動噴の限界 農薬量不足	農薬量の調整
定植初期の北風	北向きに伸ばした芽が、連日 の北風により南を向いてしまい、 その矯正に手を取られた。	早めの蔓止め
作業の熟練度不足	蔓直し、腋芽欠き、ガム テープ貼り、雑草処理不足	経験を積む
規格の認識不足	規格定義の曖昧な認識	厳格な定義ができないので 数をこなして慣れる

予算使用内訳

項目	品目	金額(千円)	使途
備品購入費	かぼちゃ洗浄機 肥料散布機 タンク インパクトドライバー	285 15 11 16	出荷前の洗浄のため 肥料散布のため 農薬散布のため 倉庫用設備設置のため
需用費	鎌、一輪車等 農薬、防塵マスク等 パイプ刺し、補修テープ等	計120	農作業のため 農作物生産のため 生産に係る設備設置のため
負担金補助金	大型特殊免許取得	108	トラクターの公道走行のため

気付き

- ・ 秋物は季節的な要因はあるものの、作業内容としては春栽培作業と大きく変わらず、マルチング(苗床づくり)のみなので、独力でも取り組み易い
- ・ そのため、春の研修を最初から通して行うことができれば、翌秋は独力生産に移行できる。
- ・ 結果として、独立時期を早めることができる。
- ・ つまり、協力隊を通じ、江戸崎かぼちゃ生産者として就農を目指す場合、以下が無駄のないスケジュールになると思われた。

<ポイント>

前提是、認定新規就農者となる準備が完了したタイミングを独立時期としている

着任後から研修と並行して圃場と作業場探しをする

春物経験後に事業計画作成スケジュールだが

事業計画作成が早ければ、その分独立時期は前倒しできる

	1月	2~7月	8~11月	12月
1年目	着任	春栽培研修	秋栽培 独立生産	環境整備 畠づくり
		圃場・作業場探し		

	1月	2~7月	8~11月	12月
2年目	環境整備 畠づくり	春物促成栽培 独立生産	秋物抑制栽培 独立生産	環境整備 畠づくり
			事業計画作成	

	1月	2~7月	8月以降	12月
3年目	環境整備 畠づくり	春物促成栽培 独立生産		独立就農
		事業計画作成・認定取得準備		

最後に

- ・農業は収入時期が定まるので、言うまでもなく給料を貰えることは非常に大きいメリット
その他の支援も利用して独立環境を整えれば、特に江戸崎かぼちゃは価格も現状では安定推移していることから、就農後に資金面で困るリスクは大きく減ると思われます。
- ・協力隊であれば着任後からJA稲敷かぼちゃ部会と関係構築を図れるため、スムーズに研修を受けることができ、生産に関していつでも相談できる環境が整います。
- ・そのため、協力隊を通して江戸崎かぼちゃの就農をすることは、就農後に農家を継続していくことができる可能性が大きく高まると思われました。
- ・現在、春作の最中です。今後は春作と並行して事業計画の作成を進捗させていきます。

以上